

横のつながり

福島県の有賀先生よりバトンを受け取った福井県の横田です。昨年の10月だったでしょうか、監督者訓練の研修を訓大（自分が入学したときは「訓大」だったので、ついついこの言い方を使ってしまう）に受けに来ていたときでした。どこかで見たことのある、人懐っこい笑顔が自分のほうに近づいてきます……

そうです。有賀先生でした。有賀先生とは2年ほど前でしょうか、カウンセリングの研修でも一緒になったことがあり、さらに昨年度は技能五輪でも補佐員としてご一緒したという「縁」がありました。

その有賀先生からの直接の依頼とあっては断れるはずもなく……



平成10年3月に訓大を卒業してもうすぐ丸6年です。最初のうちはホント駆け足で、その日の仕事をこなすのに精一杯で、考える暇もなく時間は流れていきました。2、3年経てば少しは時間に余裕ができるかと思いましたが、次から次へと押し寄せる新しい波にのまれてずっと駆け足だったような気がします。

特に敦賀学院は、平成14年度に再編整備事業として科・カリキュラムの見直し、建物の改築を控えており、12年度より校舎の一部解体・建築が始まる関係もあって、採用された年の秋あたりから再編関係の仕事の波がとどまることなくやってきました。当時は右も左もわからぬなか、大変苦労しましたが、今となっては良い経験ができたと思っています。また、再編と平行して県7次計画の策定などさまざまな波がありましたが、そのなか

の1つに「技能五輪」がありました（もっともこれについては現在進行形ですが）。

平成13年のことでした。訓大に指導員研修を受けに来ていて、卒業時の担任であった先生のところに顔を出しに行ったときでした。「おっ、いいときにきた」。運が良いのか悪いのか……こうして当時先生が主査をされていた職種の補佐員として、翌年の熊本大会から携わることになりました。電気系保全や配電盤組み立て等で技能検定とはかかわりがあったのですが、いざ五輪に参加してみるとそのすごさに驚かされました。もちろん、選手個人の技量や意気込みもさることながら、会社として取り組む姿勢、また主催する県側の意気込みなど、圧倒されることばかりでした。

私たち都道府県の指導員はなかなか他県の指導員の先生方と会う機会・話す機会が得られません。しかし私の名刺入れの中には、“北は岩手県から南は鹿児島県”までさまざまな都道府県の先生方の名刺が入っています。これは、訓大の研修で得られた研修内容とは違う、もうひとつのものだと思います。この「横のつながり」をこれからも大切に、そして“北は北海道から南は沖縄”となるように広げていきたいと思っています。



さて、次にバトンを渡すのは、愛媛県立宇和島高等技術専門校電気工事科の鈴木先生です。同じ電気系の先生で、再編のときにいろいろ相談にのっていただいた頼れる先生です。では、よろしくお願いします。